

じ おう し の だ や ま 地黄湿地や信太山湿地

じ おう の せ ち ょ う
地黄湿地は、能勢町にある面積約1ヘクタールの府下最大の湧水湿地です。サギソウやトキソウ、モウセンゴケなどの植物や、ハッチョウトンボなど湿地環境特有の生きものの宝庫となっており、1998年に大阪府緑地環境保全地域に指定されています。しかし、周辺からの土砂が^{しげ}入ったり、木が繁ってきたりで保全する必要があることから、土砂防止の^{たいさく}対策や^{しんじゆぼく}侵入木の^{ばつ}伐採作業などが行われています。また、地下水の^さ調査、動植物の調査なども行いながら、湿地の保全に取り組んでいます。



196. 地黄湿地



197. 湿地の調査研究活動

い ず み し し の だ や ま
和泉市北部の信太山湿地は、丘陵地約300ヘクタールの区域に点在するため池や、谷あいの^{ゆうすい}湧水湿地などからなる湿地群です。これまでにトキソウなど約600種の植物が記録されており、カスミサンショウウオなど^{きしやう}希少な生きものもすんでいます。ここでも、水質浄化装置の設置や雑草の刈払い作業、水路や木道の設置などの環境保全の作業を行うと同時に、植生調査や昆虫、両生類などの調査も行い、湿地の環境整備に取り組んでいます。



198. 信太山湿地



199. ボランティアによる管理作業

八尾水辺エコアップ

八尾市山麓部のため池では、水質などの環境悪化や外来種であるブラックバスの放流、タイリクバラタナゴとの交雑によって、ニッポンバラタナゴが絶滅の危機にひんしています。

その生息環境を復元するため、八尾市から野池の提供を受け、ボランティアによるヘドロ除去や伝統的な寒干し、池周辺部の柴刈りなどを行い、生息環境を整えたあと、共生する二枚貝とともにニッポンバラタナゴを放流する予定です。



200. 八尾市山麓部のため池



201. ボランティアによるヘドロ除去作業



202. ニッポンバラタナゴ

身近な里山

身近な里山においては、市民や企業、団体、行政などとのパートナーシップのもと、地元の人々も交えて保全活動をすすめています。

大沢の森（島本町）、いずみの森（泉佐野市）、げいんみのおし（箕面市）、蕎原の森（貝塚市）、堀河の森（泉南市）などでは、「みどりすと」をはじめ多くの市民ボランティアによる柴刈りや除間

伐、草刈りなど里山の保全活動が進められています。また、こうした保全作業を行う一方、森の花や野鳥などの自然観察、作業で発生する間伐材を活用した炭焼きやきのこづくり、ネイチャークラフトなど、森の自然を活かしたレクリエーションを組み入れ、里山ファンを増やしています。



203. 森林ボランティア作業（間伐材の加工）